

成果の説明書

(氏名)	佐藤 徹	(学部)	地域政策学部
1 重要事項			
A. 教育			
(1) 政策科学（前期）			
政策科学の登場と歴史的背景、政策分析の手法に加え、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げ、政策科学の意義と本質について受講生自身が考えるように工夫した。			
(2) 初年次ゼミ（前期）			
大学生としての心構え、情報リテラシーの考え方、レポートや論文の作成技術、図書館の活用方法、プレゼンテーション技術などが修得できるように努めた。			
(3) 行政学（後期）			
行政学の基礎理論を修得するとともに、現実の行政にも関心が持てるように講じた。受講生がすすんで発言しやすい環境づくりにつとめ、双方向型の授業となるようにも工夫した。			
(4) 政策評価論（後期）			
政策評価に関する基礎理論とともに、政府や自治体での評価に関する具体例を取り上げながら、受講生が政策を評価する際の視覚や能力を養えるように努めた。			
(5) 演習Ⅰ（通年）			
ゼミ生たちが議論を通じて共通の研究テーマを探索・検討するとともに、関連文献・資料の調査を行い、収集した情報の整理分析に取り組めるよう指導した。			
(6) 演習Ⅱ（通年）・卒論指導			
ゼミ生が先行研究の検討整理や自治体へのインタビュー調査等を行ったり、統計データの分析を行ったりして、各人のテーマに沿った質の高い卒業論文が執筆できるよう添削指導した。			
(7) 政策評価特論（大学院）			
政策評価に関する理論と実際についてバランスよく講じるとともに、受講生の理解がさらに深まるよう、議論を重視した授業を展開した。			
B. 研究			
(1) 著書			
『観光政策への学際的アプローチ』（高崎経済大学地域科学研究所編、勁草書房、2016年3月刊）、「観光政策と政策評価」（第6章）を分担執筆 『保健医療福祉行政論』（メヂカルフレンド社、2015年11月）、「計画の管理と評価」の改定執筆			
(2) 論文			
- 佐藤徹「市民討議会—研究及び実践の動向・課題・展望」『地域社会研究』第26号、pp.21-25、2016年3月 - 佐藤徹「人口減少時代の政策選択—優先順位をいかにつけるか」『住民行政の窓』第415号、pp.2-17、2015年5月、日本加除出版 - 佐藤徹「施策評価の理論と実際」『季刊評価クォーターリー』第33号、pp.41-56、行政管理研究センター、2015年4月			
(3) 学会発表・研究会報告			

・ 口頭発表「市民討議会の動向と展望」、日本ミニ・パブリックス研究フォーラム 設立総会、東京工業大学、2015 年 12 月 12 日 ・ 口頭発表「ロジックモデルの社会実装に向けてー基本モデルの抽出とその応用ー」、第 4 回自治体政策経営研究会、埼玉県上尾市役所、2016 年 3 月 18 日 (4) 科学研究費 ・ 科学研究費・基盤研究 (C)『政策手法に対応したロジックモデルの類型化と評価指標の開発』研究代表者 (2015 年度～2017 年度) ・ 科学研究費・基盤研究 (A)『行政改革のインパクトとポスト NPM への展開に関する総合的研究』連携研究者 (2013 年度～2017 年度) C. 社会貢献 (1) 公職 ・ 群馬県：行政改革評価・推進委員会委員長 (2010 年 9 月～現在) ・ 千葉県：総合計画の進行管理に関する有識者懇談会」委員 (2010 年 4 月～現在) ・ 岩手県：政策評価委員会政策評価副専門委員長 (2008 年 2 月～2016 年 2 月) ・ 岩手県北上市：政策評価委員会副委員長 (行政評価検証専門部会長) (2011 年 8 月～現在) ・ 東京都中野区：外部評価委員会委員長 (2015 年 9 月～現在) ・ 埼玉県戸田市：外部評価委員会委員長 (2011 年 9 月～現在) ・ 埼玉県桶川市：協働推進審議会会長 (2011 年 9 月～現在) ・ 埼玉県上尾市：地域創生総合戦略審議会会長 (2015 年 9 月～現在) (2) 講演等 ・ 2016 年 3 月 3 日「自治体評価の現状と課題」第 19 期評価士養成講座、日本評価学会 ・ 2016 年 1 月 21 日「政策の体系的評価ー政策の体系化による政策評価の体系的かつ合理的で的確な実施について」政策評価に関する統一研修、総務省 (東北管区行政評価局) ・ 2015 年 9 月 27 日「自治体評価の現状と課題」第 18 期評価士養成講座、日本評価学会 ・ 2015 年 7 月 24 日「行政評価の本質とは何かー施策評価を中心に」岩手県北上市主催 ・ 2015 年 6 月 26 日「施策評価による計画策定の意義と手法」千葉県松戸市主催 ・ 2015 年 5 月 16 日「市民参加手法における市民討議会の特徴」第 8 回市民討議会見本市、三鷹市市民協働センター D. 学内業務 特に学部人事委員会委員長としての業務に取り組んだ。	2 その他の事項
---	-----------------